「This is SUEKI ―古代のカタチ、無限大！」関連事業

特別講演会

須恵器 ―その用の美と生産者

講師 **菱田 哲郎 氏**

（兵庫県立考古博物館　館長）

2026 年

4/25 土

13 時 30 分～15 時（開場は13 時）

会場	当館研修棟1階 セミナー室
定員	110 名（事前申込制、先着順）
参加費	無料 ※ただし、本展の観覧券（半券可）が必要です。

古墳時代、朝鮮半島から窯やロクロの技術が日本にもたらされたことにより、須恵器の生産が始まりました。

その技術は５世紀を通して定着し、やがて日本列島各地へと広がっていきます。

須恵器の造形は、ルーツである朝鮮半島の陶質土器の形を取捨選択しながら、日本の文化や人々の生活にあわせて、変化していきました。

一見すると簡素にも見える日用使いの須恵器には、古代の実用に即して生み出された美しさがあります。

本講演では、須恵器の造形の背景にある生産技術や作り手たちに注目しながら、古代社会の中で育まれた須恵器の魅力についてお話いただきます。

重要文化財《四耳壺》（部分）古墳時代（５世紀）　大阪府陶邑窯跡群栂 225 号窯跡出土　堺市蔵

菱田 哲郎（ひしだ てつお）

1960年 大阪府生まれ。専門は日本考古学、比較考古学。1983年 京都大学文学部史学科考古学専攻卒。同大学大学院博士課程中退。1985年 京都大学文学部助手、同大学文学部博物館（現総合博物館）助手。1992年より京都府立大学文学部に移り、1994年より同大学文学部助教授。2007年 同大学文学部准教授、2009年より同大学文学部教授（2025年まで）。2024年より現職。著書に『須恵器の系譜』（歴史発掘10巻、講談社、1996年）、『古代日本　国家形成の考古学』（学術選書025、諸文明の起源14、京都大学学術出版、2007年）『はじめて学ぶ考古学』（共著、有斐閣出版、2011年）など。

《お申込み方法》

1　WEB … 当館ホームページからお申込み下さい。

2　電 話 … 下記お申込み先へお電話ください。

※　お申込み後に人数変更・キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

【お申込み・お問い合わせ先】

兵庫陶芸美術館　学芸課

〒669-2135

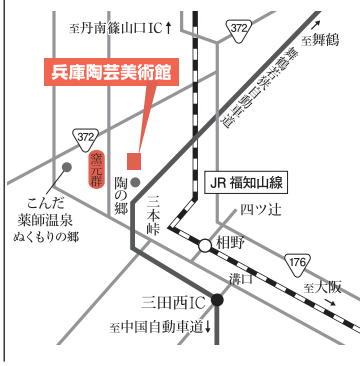
兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4

TEL　079-597-3965

HP　https://www.mcart.jp

土と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

ACCESS



交通のご案内

鉄道・バスをご利用の場合

- JR福知山線「相野駅」下車（大阪駅から約50分）
  駅前からウィング神姫（路線バス）「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車
  ※相野駅発バス時刻は当館ホームページでご確認ください。

自動車をご利用の場合

- 舞鶴若狭自動車道「三田西IC」から約15分、または「丹南篠山口IC」から約20分
- 中国自動車道「滝野社IC」から国道372号を東へ約30分
- 阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻交差点を左折約15分
- 駐車場無料（敷地内　普通車58台分）、大型可

その他

- 無料貸出有（車椅子4台　ベビーカー2台）